

令和7(2025)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
修士課程入学試験案内
(夏季募集)

社会情報学コース

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

1. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は、コースにより記入項目が異なるので、十分注意して選択し、1 コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書で選択したコースに出願したものとして取り扱う。
- (2) 「外国語（英語）受験方法」欄は、該当する項目を選択すること（「外国語（英語）試験について」参照）。
- (3) 「一般選抜／特別選考枠」欄は、該当する項目を選択すること。
- (4) 「出身大学」欄に正確な学部・学科名を必ず記入すること。また、東京大学を令和 7（2025）年 3 月に卒業見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。
- (5) 大学院を修了している場合も、「出身大学」欄には学部に関する履歴を必ず記入すること。また、複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、履歴に記入すること。
- (6) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄の大学に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。
- (7) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

2. 成績証明書に関する注意

- (1) 成績証明書は、必ず教養課程を含んだ 4 年間分を提出すること。
- (2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。
- (3) 複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。
- (4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。
- (5) 原本は各自保管すること。

3. 指導教員希望調査書に関する注意

- (1) 「学生受入教員名簿（修士課程）」（後掲）を参照の上作成すること。
- (2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースの学生受入教員名簿に記載された教員から選ぶこと。
- (3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

4. 日本語学力証明書に関する注意

- (1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。
- (2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

5. 各種証明書及び提出書類等に関する注意

- (1) 外国語試験の成績証明書の取扱いについては、本入学試験案内の「外国語（英語）試験について」を参照すること。
- (2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

6. 各種提出書類等に関する注意

- (1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）「7. 提出書類等」に基づき、指定のウェブサイトより入力及びアップロードすること（入力及び

アップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する)。

- (2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。
- (3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。
- (4) 「自己推薦書」について、情報学及びその関連する分野における実績がある場合は、掲載されている URL を記入すること。
- (5) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

社会情報学コース案内

本学府修士課程[社会情報学コース]は、メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる社会現象・文化現象を分析するための学識を養い、専攻分野における研究及び応用の能力を培うことを目的とし、社会情報学の発展に貢献できる研究者を養成する教育を行います。

1. 募集人員

募集人員
16名(うち特別選考枠若干名) (夏季、冬季の入試の合計人数である。)

(注1) 本コースでは、「特別選考枠」を「社会人特別選抜枠」として取り扱う。

(注2) 選考の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

(注3) 冬季の募集については改めて発表する。

2. 試験科目等 (一般)

(1) 一次選考

判定は、外国語試験の成績証明書及び書類選考により行われる。

選考	内容
提出書類 (外国語(英語))	「外国語 (英語) 試験について」(後掲) 参照
提出書類 (小論文)	所定の様式 (小論文) に記載されている課題に対する解答を4,000字程度で記述し、アップロードすること。なお、日本語で記述すること。
筆記試験 (専門科目)	メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる知識を、基礎となる人文・社会科学 (法学、政治学、経済学、社会学、メディア・ジャーナリズム研究、社会心理学など) の知識と合わせ試験する。解答は日本語で記述すること。

(2) 二次選考

一次選考合格者のみを対象にオンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ (ノートパソコン等) が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。また、口述試験で、入試案内の筆記試験 (専門科目) にて示されている内容について試問を行う場合がある。

選考	内容
口述試験	基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。本人の説明時間は7分以内とする。

3. 特別選考枠：社会人特別選抜枠

本コースの特別選考枠である「社会人特別選抜枠」では、社会情報学に深くかかわる分野で、大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的とし、社会情報学の知識・理論や研究態度を身に付けながら、より高度な職業的、社会的実践能力を備えた専門的職業人となりうる人材を募集します。

(1) 条件

「学生募集要項(1. 出願資格)の(1)～(6)」に加え、入学予定時において、社会人としての期間が通算3年以上あること。

(2) 出願時提出書類

社会人特別選抜枠での受験を希望する者は、学生募集要項(7. 提出書類等)に記されたもののほか、出願時に「志望理由書」を提出すること。

「志望理由書」執筆に際しては以下の点に注意すること。

- ① 社会人としての業務ないし活動内容と、学際情報学府で学ぼうとしている学術的内容との関係をあきらかにすること。
- ② 400字詰原稿用紙15枚以上20枚以内に相当する字数。A4判の用紙を使用すること。ワープロ可。

(3) 試験科目

1) 一次選考： 判定は、外国語試験の成績証明書及び書類選考により行われる。

試験	内容
提出書類 (外国語(英語))	「外国語(英語)試験について」(後掲)参照
提出書類 (小論文)	所定の様式(小論文)に記載されている課題に対する解答を4,000字程度で記述し、アップロードすること。なお、日本語で記述すること。
筆記試験 (専門科目)	社会人の経験を踏まえつつ社会情報学を研究していくうえで必要とされる学問的適性について試験を行う。 また、特別選考枠においても、メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる知識を、基礎となる人文・社会科学(法学、政治学、経済学、社会学、メディア・ジャーナリズム研究、社会心理学など)の知識と合わせ試験する。解答は日本語で記述すること。

2) 二次選考： 一次選考合格者のみを対象にオンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ(ノートパソコン等)が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。また、口述試験で、入試案内の筆記試験(専門科目)にて示されている内容について試問を行う場合がある。

選考	内容
口述試験	研究計画、研究能力、社会人経験、志望動機に関し総合的に考查する。本人の説明時間は7分以内とする。

外国語（英語）試験について

一次選考（書類選考）における外国語（英語）の試験は下記の方法による。

本学府が指定する TOEFL-ITP は実施しない。

入学願書の所定欄の希望する受験方法に一つだけチェックすること。

なお、外国語（英語）の試験について、下記で指定する受験方法以外は認めないので注意すること。

次のア、イ、ウ いずれか1つを提出する。

ア. TOEFL-iBT の公式スコアシート

※TOEFL iBT Home Edition も可

イ. TOEIC の公式認定証

ウ. IELTS の公式成績証明書

※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可

【ア. TOEFL (<https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/>) について】

○試験の種類： TOEFL-iBT とする。

※TOEFL iBT Home Edition も可

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2022年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2. 出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：「**Institutional Score Report**」または「**Official Score Report**」

Institutional Score Report または Official Score Report は、ETS から東京大学大学院学際情報学府宛に直送されるものである。

受験生は、ETS に対して Institutional Score Report または Official Score Report の送付を請求する必要がある。

○提出方法：「Institutional Score Report」または「Official Score Report」の到着期限は、令和6（2024）年7月26日（金）を原則とする。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード：0440（U of Tokyo, Grad Sch Inter Info）」「Department コード：“99”（Any Department Not Listed）」へ送付するよう必ず請求する。

出願時に Appointment Number を記入すること。

注）請求方法などは、TOEFL のウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/ibt/scores/>

○注意事項：※ 各スコアの到着には約6週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認すること。

※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【イ. TOEIC (<https://www.iibc-global.org/toeic.html>) について】

○試験の種類：TOEIC L&R とする。

※「TOEIC S&W、TOEIC Speaking、TOEIC Writing、または TOEIC SW Test」、「TOEIC Bridge Test または TOEIC Bridge」のスコアは受け

付けない。

- 有効期限：本学府入学試験の2年前(2022年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。
- 提出書類：「Official Score Certificate」(公式認定証)をスキャンして提出すること。
団体特別受験制度(IP: Institutional Program)のScore Report(個人成績表)、スコアシートのコピーなどは受け付けない。
- 提出方法：願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。
ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和6(2024)年7月26日(金)正午必着で本学府にメールで提出すること。
- 注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【ウ. IELTS (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>) について】

- 試験の種類：アカデミック・モジュールとする
※Computer Delivered IELTS (アカデミック・モジュール) も可。
※ジェネラル・トレーニング・モジュールの成績は受け付けない。
- 有効期限：本学府入学試験の2年前(2022年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。
- 提出書類：IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) をスキャンして提出すること。
- 提出方法：IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) は、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和6(2024)年7月26日(金)正午必着で本学府にメールで提出すること。
また、IELTS を実施している公益財団法人日本英語検定協会の管轄オフィスから大学に成績証明書 (Test Report Form) を送付するサービスを使って提出することも可とする。その場合、令和6(2024)年7月26日(金)本学府必着とする。管轄オフィスに対して東京大学大学院学際情報学府宛へ送付するよう必ず請求する。あて先は、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項(夏季募集)表紙を参照すること。
注) 請求方法などは、IELTS のウェブサイトですべて確認すること。
<https://www.eiken.or.jp/ielts/result/>
<https://www.eiken.or.jp/ielts/apply/>
- 注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

社会情報学コース
学生受入教員名簿（修士課程）

学際情報学府修士課程指導教員のうち、令和7（2025）年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。

「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

教員名		
石崎 雅人		教授
大庭 幸治		准教授
開沼 博		准教授
北田 暁大		教授
酒井 麻千子		准教授
澁谷 遊野		准教授
関谷 直也		教授
高木 聡一郎		教授
丹羽 美之		教授
林 香里		教授
三谷 武司		准教授
山口 いつ子		教授

（五十音順）

各教員の専門分野などの詳細は、大学院情報学環・学際情報学府のウェブサイト (<https://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>) を参照すること。